

# 【収入保険】私の選択・加入者の声



## 「価格変動に頼もしい備え」

【栃木県鹿沼市 (株)コバヤシファーム  
代表取締役社長 小林 哲哉さん(42)】

栽培規模 = ホウレンソウ10ヘクタール、コマツナ40ヘクタール

農業収入全体をカバーする、どの保険会社にもない商品です。茨城県や群馬県の仲間にも制度を勧めています。

露地野菜は自然災害を受けやすく、2013年に竜巻、2014年に雪害、2015年に水害を受けた苦い経験があります。作物を問わずに加入できるのはありがたいです。

スーパーとは価格固定で契約していますが、今年のように生育が順調だと市場が飽和状態になり、価格が低迷し、注文数が減少します。こうした価格変動に備えられるのも大きいですね。今年も保険期間中に価格低迷による収入減少があり、日本政策金融公庫からの融資を受けましたが、その際にも制度への加入が加味されました。

地域が高齢化していく中、委託される圃場の数も増えますが、その農地の良し悪しは作付してみないと分かりません。こういったリスクがあっても、加入していれば、リスクを恐れずに挑戦できます。

(農業共済新聞 [北関東版] 2019年10月1週号より抜すい)